

先程は、各学年代表の方に修了証を手渡しました。皆さんそれぞれが、井波中学生の自覚をしっかりと持ち、素直で誠実に過ごした1年間だったと思います。先日の予餞会や卒業式での行いに代表されるように、確かな成長を感じています。さて、4月から、2年生は最高学年かつ進路を決める学年となり、1年生は後輩に手本を示しつつ、後半は学校の中心となる時期を迎えます。この大切なスタートとなる第1学期始業式を、気持ち良く迎えるために、明日から始まる12日間の春休みは、新年度への準備期間として大事に過ごして欲しいと思います。ここで、私から2つのことを話します。

1つ目は、勉強の復習のレベルアップを目指してください。学力を向上させる、例えば通知表の成績を上げるためには、学校の授業をきちんと行うことは当たり前ですが、家に帰ってからのおさらいがとても重要です。ここで、差がついたり縮まったりするのです。通知表の観点欄についている、A・B・Cをみて、どの内容が自分の弱点なのかを確実につかみ、克服するための正しい知恵やアイデアが望まれます。2年生の成績は、高校に繋がるものとなり、3年生1学期からの成績は進路に反映されてきます。家庭学習の時間を、大切にしましょう。

2つ目は、徳を高めるということです。

アメリカでとても人気が高い日本人スポーツ選手に、野球の大谷翔平選手がいます。彼が、アメリカのファンの心を惹き付ける行いの一つに「ゴミ拾い」があったのです。試合で一塁へ向かう途中、数歩進んだところで、足元にある小さなゴミを目にし、さっとかがみこんでポケットに入れる場面を、アメリカのメディアは見逃さず、動画付きのツイッタ一で投稿。すると、アメリカのファンは、「すべての子供に見てもらいたい偉大な模範」とか、「大好きだ。一流の振る舞い」など、絶賛の声が大多数寄せられたのです。

大谷選手の心の中はどうか分かりませんが、その自然さや表情からは、自分を偉がってみせるとか、かっこつけるなどの様子は感じられなかったから、アメリカのファンは大谷選手のことを好きなのだと思います。また、大谷選手はきっと、誰かが見ている見えないに関係なく、日ごろから「落ちているゴミを見つけたら拾おう」と、内面を磨いているのだと考えます。こうした、目に見えない心の中をよりよく掘り下げる状態のことを、目線や聴き方、話し方や身だしなみなど、表に現れて誰かに認識される「陽徳」とは異なり、「陰」の「徳」と書いて「陰徳」と言います。会話をよくする。でも、気の合う人とばかりしていて、他に仲間の声を聴こうとしない。拍手の音は大きい。けれど、大きさが大きいだけで、相手を尊う気持ちが薄い。また、きちんとした姿勢はしている。でも、話し手の言葉を受け容れず、別のことを考えている。まるで、ねじれ現象です。

自分とは磨くものでなく「磨かれるもの」であり、人は人を磨くことでしか磨かれないのです。いかに身近な人たちを笑顔にし、輝かせていけるかを大事にしながら生活を続けていく。これこそが、自分自身も幸せになれる道に繋がると信じるものです。陰徳を高めようと励む、井波中生であって欲しいと思います。

結びに、修了式をこうして無事迎えることができたのも、皆さんの頑張りのお蔭です。本当に感謝しています。明日からの春休み、交通安全と感染防止には特に気を付けて、過ごしてください。そして始業式には元気な姿で会えることを楽しみにし、式辞とします。